

越える つながる 愛する



Photo: Paula Kuwabara

『どうすればよかったか？』
藤野知明 × 浅野由美子 最新作



Yuho
Noborder

浅野由美子初監督作品

出演 安積遊歩 安積宇宙 神野愛子

音楽: はるの 題字・イラスト: 藤原千尋 編集: 秦岳志 整音: 川上拓也

撮影: 武田春乃 制作・撮影・編集: 藤野知明 監督・撮影: 浅野由美子 製作: 動画工房ぞうしま

配給: 東風 2026年|日本|82分|DCP|ドキュメンタリー © 2026 動画工房ぞうしま

遊歩
ノーボーダー

自由のためにつきすんできた遊歩さん。一緒になら行ける、ひとりでは届かない場所へ。

yuho-noborder.com





それでも今はつきりと言える。

私は私が一番いい。

あなたはあなたで一番いい。

社会に向けて強い信念で声をあげたかと思えば、そばに集う人びとの言葉に優しく頷き、ユーモア交じりに語り合う。くるくると豊かに変わる表情、1956年福島生まれの遊歩さん。

幼いころから学びを諦めさせられ、障がいや性別によって差別し、排除しようとする社会に憤りを抱えてきた。ずっと自分の居場所を探していた。そんななか繋がった「福島県青い芝の会」、米国留学で出逢った自立生活運動、そしてフェミニズム。それらのすべてを糧に日本初の自立生活センターの設立に尽力し、国際会議に参加、優生保護法を変えるきっかけにもなった。そして奇跡だと感じた妊娠、出産――。



遊歩さんの言葉に、身体にエンパワーメントされた浅野由美子による監督デビュー作。『どうすればよかったか?』(24)で併走した藤野知明が撮影・編集・プロデューサーを務め、二人三脚で作品を作り上げた。カメラは、車椅子でぐんぐん進んでいく遊歩さんを追いながら、彼女のパワーの源とその想いを受け止めてきた人びとも映し出す。激しくぶつかり合う姉と父親の間で揺れ動いてきた妹の愛子さん。同じ特徴を持って生まれ、海外で障がいのある人の権利向上を図る研究所に勤めながら大学院にも通う娘の宇宙さん。そして、自由な関係を築きながら日々をともにする若い介助者たち。

私たちはひとりでは生きていけない。誰もが、誰かと支えあいながら生きている。遊歩さんの軌跡を辿っていくと、私たちも一緒に、これからどこまでも行けそうな気がする。



★ 日本語字幕つき上映



出演: 安積遊歩 安積宇宙 神野愛子 音楽: はるの 題字・イラスト: 藤原千尋 編集: 秦岳志 整音: 川上拓也
撮影: 武田春乃 制作・撮影・編集: 藤野知明 監督・撮影: 浅野由美子 製作: 動画工房ぞうしま 配給: 東風
2026年 | 日本 | 82分 | DCP | ドキュメンタリー © 2026 動画工房ぞうしま yuho-noborder.com



5月23日(土)よりロードショー

